三才三鳥傳

全

特別
イ4
3163
76

貴
14
3163
76

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三鳥之事之部

人丸大明神　住吉大明神　玉陸島大明神

西三条大臣御傳書

傳授其下流外鶏堂主人　猶一器水移一器也

三鳥之御傳　百舌鳥　千鳥　浮子鳥　稲負鳥

百舌鳥　古今集之名也

其の鳥也とは鳴る鳥と云て毎年鳴て来る鳥と云て

世人と云たる也　其拙者形也　其拙者

是法住位世間相常住心也

我と云とは自身の体身也　二変立場に改る事

形く所なる故也　世界の人と云は住なり　我と

云者は　喜怒哀楽　なる故也　裏表なき也

二重之口授

其の鳴る鳥と云たる拙者形色心と云たり　其大意

云は　我年　立場にて変化　我と云者

立て　改る　我と云者　七情の

云命　記生　病死　何地　引ぞ

[illegible]れ[illegible]えの初の自性[illegible]

呼子鳥

色この説[illegible]
[illegible]山中[illegible]
[illegible]

二重之口授

[illegible]世界悉檀なり常の[illegible]
[illegible]山[illegible]
[illegible]

稲屑鳥

[illegible]陽和合[illegible]
[illegible]陽和合[illegible]生[illegible]

二重の口授

[illegible]陽和合[illegible]
[illegible]

[illegible]

稲須鳥此方[illegible]

我門[illegible]

如此以一身上比三鳥以之鳥
叩不可吐言路是則西三条
内府之御口授也
他言[illegible]不可有已

[illegible]

三木之傳　ヨカタノ本　カハヤ　メトノ　ヨカタノ本

天照大神此山石戸を閉給ひ世間暗夜なり中ツ枝の境を[illegible]
[illegible]時[illegible]境を[illegible]
魂を[illegible]是三種の神器の[illegible]

二重之口授

天照大神[illegible]時諸神集りの[illegible]神の上
[illegible]
[illegible]
[illegible]

二重の大事

知らざるの事　内侍所　八咫の鏡

二重之口伝

陰陽不二の鏡を二重と云ふ　陰陽の中に神形妙くめりなり　鏡の中に空虚なり　是則鏡の形　羅萬像を写す　一天四海を治る所の神器　故国々の神器　故国々の宝也　光孝の強き鳥業と為ハト強き也

御神魂之事

置魂木　ヨリカタマリノ木　五家中略也　ヨリカタマリノ木　ヨリカタマリ木　ヨリカタマリ酒　音ナリ

妻戸之別名

是ハ妻戸の別名　大なるものの也　男陰門　女の陰門　二重くるくる書の戸の陰陽を用ひる陰陽和合也　此門ハ表ハ物の門　戸なるのくるくるなり

二重之口伝

妻戸　北斗　北斗大概　如し　女の陰門　陰陽也　陰門ハ表ハ物の門　戸なるのくるくるなり　表ハ物の門　戸なるのくるくるなり　北斗　北斗　北斗

[illegible]

二重の口授

[illegible]

加和嫁州　草薙剣也　是別宮也

車之口傳

[illegible]

[illegible]

唯授一人相承口授

[illegible]

天皇[illegible]

[illegible]

[illegible]

維持正德萬年才四歲集

一時軒主人外鶏老翁 柳鋼 祇言

[illegible]

[illegible]古今集教誡二首之秘訣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

則は道實相の理なり故に古来より此なる鏡を
伊神の体と鏡を授ス所と今ともに日光
神と祢し祢とりて鏡を三字中略

天地人元之文字

人の天地人元之文字
八雲の字より言始り人皇世となりて素盞
る三字一字ノ部を用ひ是天地人の元也
初り也

古今傳授聞書

神親院より細川玄旨法師に自筆書
三傳授合せ是を書写し拾遺有神
道玉の根元之義一枝之外
秘伝書之事

古今傳授

中古史記列士東下野守平常録紀列種玉庵
宗祇に傳ル亦宗祇より三條大納言通通院
實隆卿に傳ル実隆より称名院公保公に傳ル
亦知院云国に傳ル称名院公保公に傳ル
其子香雲院実條に傳ル七世孫三河兵部
少輔義孝入道玄旨に傳ル師匠配たる故紀
北畠実條に傳ル

歌道神代より田舎の城へ還る
歌道初学の時古今の傳授を
孫舞丸大納言実條に傳ル

[illegible]

[illegible]

[illegible]

維時文政十丁亥初秋

[illegible]人之輯

謹嘗

[illegible]

段

[illegible]

[illegible]五年

嘉永五壬子 三月晦日

[illegible]